

令和 3年度 「校庭芝生化地域連携事業」 実績報告書

区市町村名	府中		
学校名	府中市	立	四谷小学校
1 事業目的	協議会名 四谷小学校グリーンプロジェクト		

○芝生の維持管理や校庭芝生を活用したイベントを通し、学校、家庭、地域社会が理解を深め子供の健全育成や地域の教育力の活性化を図る。  
 ・児童の環境保全意欲を高めるとともに、持続可能な社会づくりへ向けての実践的な態度を養う。  
 ・児童の体力向上を図り、健康・安全への態度を養う。

2 主な取組と成果

○芝生の維持管理や校庭芝生を活用したイベントを通し、学校、家庭、地域社会が理解を深め子供の健全育成や地域の教育力の活性化を図る。  
 ・児童の環境保全意欲を高めるとともに、持続可能な社会づくりへ向けての実践的な態度を養うことができた。  
 ・児童の体力向上を図り、健康・安全への態度を養うことができた。

3 取組内容

- ①「芝生の植生」
  - (1) 7月12日(月)
  - (2) 教職員、6年生児童及び保護者
  - (3) 140名
  - (4) 全校児童が、芝生を育て、6年生児童及び教職員と保護者で芝生の植生を行った。
- ②「芝生の雑草取り」
  - (1) 8月26日(木)
  - (2) 教職員、保護者
  - (3) 50名
  - (4) 教職員と保護者で芝生の雑草を除去した。
- ③「学年表現発表会」
  - (1) 10月16日(土)8時30分～12時30分
  - (2) 全児童
  - (3) 670名
  - (4) 各学年が体育科の表現での成果を発表した。  
後日、ビデオを保護者及び地域の方々に鑑賞してもらった。
- ④四谷グリーンプロジェクト協議会
  - (1) 11月20日(土)10時～12時
  - (2) プロジェクト委員
  - (3) 10名
  - (4) 芝生の現状報告と今後の活用予定の確認
- ⑤四谷小フェスティバル
  - (1) 12月21日(火)
  - (2) 全児童
  - (3) 670名
  - (4) 全校児童が芝生の上で店を出しあい交流し、親睦を深めた。



4 今後について

○今年度、コロナウイルス感染症対策のため校庭芝生化推進協議会(四谷小グリーンプロジェクト)を1回しか開けず、地域の方々の参加する機会ももてず、明確な方針を示すことができなかった。来年度は、これまで通り、地域と連携した活動ができるとよい。  
 ○芝生に親しみ、活用が増えれば増えるほど、芝生が荒れてしまい維持・管理作業の手間や養生期間が長くなってしまったため、バランスを取った活用を考えることが課題である。  
 ○地域協力者によって、芝刈りなどの維持管理作業は、スムーズに行われたが、特定の人に作業が集中することが多かった。より多く人が芝生の維持管理に関われるようにすることが課題である。  
 ○今後、管理職、教員等の異動があった際も、この仕組みを継続機能させることが重要である。